

# 生理学研究所研究会 「シナプス可塑性の分子的基盤」

2007年6月21、22日

生理学研究所(明大寺地区)・1階会議室

世話人:真鍋 俊也(東京大学 医科学研究所)

所内対応者:井本 敬二(神経シグナル研究部門)

6月21日(木)

13:00		開会挨拶	真鍋 俊也(東京大学 医科学研究所)
		座長:	高橋 正身(北里大学 医学部)
13:10	1.	神経伝達物質放出において、RIM1と電位依存性Ca <sup>2+</sup> チャネルβサブユニットとの結合がもたらす2つの機能	清中 茂樹(京都大学 大学院工学研究科)
14:10	2.	ELKS/CAST Regulates Synaptic Short-Term Plasticity by Recruiting bMunc13-2 to Active Zones	川辺 浩志(Max-Planck-Institute for Experimental Medicine, Göttingen)
15:10	3.	シナプス小胞の分子解剖学的解析からみたグルタミン酸取込過程の制御機構	高森 茂雄(東京医科歯科大学)
16:10		コーヒー ブレイク	
		座長:	井ノ口 馨(三菱生命科学研究所)
16:40	4.	ラフトアンカー型神経特異的CaMキナーゼ、CLICK-III/CaMKII $\gamma$ による樹状突起形成制御	上田(石原) 奈津実(東京大学 大学院医学系研究科)
17:40	5.	新規リガンド・受容体LG11/ADAM22によるシナプス機能制御	深田 優子(生理学研究所 生体膜研究部門)
18:40		懇親会	

6月22日(金)

		座長:	尾藤 晴彦(東京大学 大学院医学系研究科)
9:00	6.	L-type voltage-dependent Ca <sup>2+</sup> -channel gamma (Cacng) ファミリーの解析	板倉 誠(北里大学 医学部)
10:00	7.	Ca <sup>2+</sup> /カルモジュリン依存性プロテインキナーゼIIによる海馬シナプス可塑性の制御	山肩 葉子(生理学研究所 神経シグナル研究部門)
11:00	8.	発達期小脳におけるシナプス選別・除去に対するGABA作動性シナプス伝達の役割	狩野 方伸(大阪大学 大学院医学系研究科)
12:00		閉会挨拶	井本 敬二(生理学研究所 神経シグナル研究部門)